

2025年度(令和7年度)子どもが主体となった体力向上計画

福山市立泉小学校

2025年度(令和7年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	70.0	20.0	0.0	10.0
女子	37.5	43.8	12.5	6.3

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	60.0	20.0	10.0	10.0
女子	31.3	43.8	12.5	12.5

運動やスポーツをどのくらいしていますか
(体育の授業のぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	50.0	40.0	10.0	0.0
女子	37.5	18.8	25.0	18.8

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	17.68	20.63	36.82	44.40	39.63	9.65	157.44	24.93	55.54

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
女子	15.42	18.58	38.05	43.16	32.06	10.00	152.42	13.21	54.78

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

- 「運動やスポーツをどのくらいしていますか」について、週1~3日以上と答えた児童の割合が、男子90%、女子56.3%である。
- ⇒生活リズムアンケートの結果から、「ゲームやスマートフォンを3時間以上使っている」と回答した児童が全校で24%おり、運動をする時間が減っているためと考えられる。

体力面

- 「20mシャトルラン」、「50m走」において、男女ともに、県平均かつ全国平均より低い。
- ⇒体育授業を除く休憩時間、放課後等に運動する習慣がない児童が多いためと考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育の授業では、年間を通して、走力を上げるための校内オリジナル体操「泉っ子体操」を行ったり、授業はじめにグラウンドを2周走ったりする。
- 体育の授業では、習熟度に応じた活動や運動遊びを取り入れることで、楽しみながら運動することや運動に対する苦手意識を減らすことを目指す。
- 持久走録会では、練習日を増やしたり、走る距離を伸ばしたりすることで、持久力や走力の向上を目指す。

体育の授業以外で行う取組内容

- 委員会活動では、スポーツ委員会や児童会を中心に、全校や他学年ができる遊び(鬼ごっこやドッジボール等)を計画し、休憩時間に行う。
- ・大休憩に、走力、体力向上を目指した「なわとびタイム」及び「ランランタイム」を週2回実施する。運動の意欲向上や粘り強さの育成のため、頑張りカードを用意し、目標を達成できた児童を表彰する。
- ・外遊びのきっかけづくりとして、学活等でレクリエーションを行い、運動の日常化を図る。

2026年度(R8年度)の 重点目標値

- 「運動やスポーツをどのくらいしていますか」の質問項目のうち、週1~3日以上と答える児童の割合を、男子90%以上、女子80%以上にする。
- 「20mシャトルラン」、「50m走」を県平均かつ全国平均より高くする。